



Public Information Furubira

2014(平成26年)

広
報

ふるびら

1
月号
No.458

12月6日 幼児センター 餅つき会
(撮影場所：幼児センターホール)

年頭のごあいさつ



町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

平成26年の輝かしい新春を、ご家族共々ご健健で迎えられましたこと心からお慶びを申し上げます。

一昨年末、4年の任期を待たずして



古平町長
本間 順 司

おめでとう ございます

政権を奪還した自・公両党は、第2次安倍内閣を組織しながらデフレ脱却を掲げ、年初から選挙戦の勢いと共に積極的に政策を展開し、所謂「アベノミクス」なる経済対策を打ち出して日銀の金融緩和策への誘導や大型補正予算の編成を行い、その後も、「一の矢」、「二の矢」を放って経済の立て直しを図って来たところでもあります。途中、乱高下を繰り返しながらも現時点では株高・円安となり、数字的にはかつての水準を取り戻して都市部は回復基調にあります。地方への波及効果はごく一部に止まっており、輸入に頼る業界は逆に苦しみとなっているのであります。

そのような中、大震災から間もなく丸3年を迎えようとしている被災地の復興であります。予算はついてモやはり思うように進んでいないというのが誰の目から見ても明らかで、被災地の住民は今なお、もがきながら3回目の新しい年を迎えたところであり、一日も早い復興を心底願うものであります。昨年末、本町の雪の降りだしは早く纏まったものでしたが、その後の雨や高温の日が続いて根雪になるまでにはかなり間が空きました。ただ、年明けの予報は低温多雪ということで少し気

懸りではありますが、「午年」に因み、雪をも蹴散らして元気に駆けまわる駿馬にあやかり、より良い年にと大いに期待をしているところでもあります。

いま、改めて昨年を振り返ってみますと、6年後の東京五輪の再来決定や富士山の世界文化遺産登録、或いは7月の参院選結果を受けたねじれ現象の解消などがあり、またスポーツ界の話題も多様で長嶋さんらの国民栄誉賞の受賞など様々ありました。他方、異常気象では3月に道内で発生した暴風雪での悲惨な死亡事故で9人が、また10月には台風26号による記録的大雨がもたらした伊豆大島の土砂崩れで30人超の犠牲者が出たことなど。更に北海道関連で申し上げますと、JR北海道の度重なる事故や不祥事の発覚、夏の平均気温が過去10年で2番目に高い高温多雨の記録づくめだったことなど。

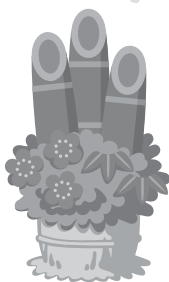
一方、国外では2月にエジプトで熱気球が炎上・墜落して日本人4人を含む19人の観光客が犠牲となり、スペインでは7月に鉄道が脱線横転して約80人が死亡。また、災害では4月に中国四川省でマグニチュード7.0の大地震があつて約2000人が犠牲に、そして極めつけは11月8日にフィリピン中部に上陸した台風30号の猛威であり、猛烈な風と大津波級の高波で死者・行方不明者は約7000人にも上つていたのであります。

昨年もまた国際平和を脅かすようなイスラム武装勢力によるアルジェリアでの邦人殺害や北朝鮮の3度目の核実験、或いはボストンマラソンでのテロ事件、そして中国による防空識別圏の身勝手な拡大措置などを考える時、国連の役割が大変重要であり、更なる奮起を期待するところであります。

さて、9月定例会でご審議いただきました平成24年度の決算につきましては、町広報等でご承知のとおり満場一致で承認されたところであり、町民の皆様方のご協力に対しまして深く感謝を申し上げますとともに、第5次古平町総合計画にある町の将来像を実現するために、引き続き行財政改革に取り組んで参る所存でありますので宜しくお願いを申し上げます。また、現在鋭意取り進め中の今年度の大型目玉事業ではありますが、様々な要因で少し遅れているものもありますが、年度内の完成を目指して頑張っているところでもありますのでご理解賜りたいと存じます。

政府が「成長戦略実行国会」と位置づけた臨時国会も終わつていよいよ新年度予算の編成となりますが、大型補正予算を含め、地方の景気をどこまで底上げできるのかがこれからの正念場であります。本町の経済が未だ冷え込んでいる中でありながらも3年前から超大型事業に取り組んでおり、今後予

明けまして



古平町議会議長
逢見輝 続

あけましておめでとございます。
輝かしい平成26年の新春を迎え、古平町議会を代表致しまして心からお慶びを申し上げますとともに、町民の皆さまには、常日頃から町議会に対し深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申

定されている大型事業につきましても有利に展開できればと願いながら、職員共々一丸となつて取り組んで参る所存でありますので、町民の皆様には尚

上げます。

私たち議員10名が町民の皆さまの信託を受け、町政の発展に取り組み始めてから2年8カ月が経過いたしました。本年も決意を新たに古平町の振興・発展に向けてさらに精進して参りたいと存じますので、どうかよろしくお願ひ申し上げます。

さて、昨年一年間の日本を振り返りますと、政治では一昨年師走に衆議院議員総選挙が行われ、民主党政権への厳しい審判で自由民主党が圧勝しました。さらには、安倍首相のもと昨年7月21日の参議院議員通常選挙でも自民党が勝利し、ねじれ国会が解消したところであります。

経済ではアベノミクス効果と消費増税問題、TPP交渉や減反政策の廃止、さらには、行政視察して参りました東北被災地の進まぬ復興や原発問題など課題が山積しています。外交では、沖縄米軍基地問題、尖閣諸島の問題に端を発した中国の東シナ海への新たな防空識別圏の設置問題、北朝鮮のミサイル、核問題、拉致問題などこちらも解決の糸口が見いだせずにあります。

一層のご支援・ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。昨年1年間のご協力に深く感謝を申し上げますと共に、平

しかし、暗い話ばかりではなく、長

嶋茂雄氏と松井秀喜氏が国民栄誉賞をW受賞したことや富士山の世界文化遺産登録、2020年夏季オリンピックおよび第16回パラリンピック競技大会の東京開催など、喜ばしい出来事も多数ございました。

一方、町内に目を向けますと、昨年4月28日に町長選挙が行われ、本間町長の4期目がスタートしております。さらには、高齢者複合施設が来年4月にオープン予定となつており、高齢者福祉の充実が一步一歩前進していることが感じられます。

ここ数年来、地方を取り巻く環境は、景気低迷や少子高齢化の進行、複雑化する社会情勢と厳しい状況は変わっておりません。それによって地方議会が果たす役割と責任は、益々重要になっていっていると認識しています。私も古平町議会と致しまして、懸案の諸問題に積極的に取り組んで参る所存でありますので、今年も尚一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新しい年が町民の皆様にとりまして、ご健勝で幸多い年となりますよう心が

成26年が町民の皆様にとって素晴らしい年となりますようお祈りをし、年頭に当たつての私からの挨拶といたします。

らお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

謹賀新年

副議長 鶴谷 啓一
議員 岩間 光修

中村 光広
本間 鉄男
堀野 俊和
(喪中欠礼)

木村 輔宏
真貝 政昭
工藤 澄男
(喪中欠礼)
(議席順)

副町長 田口 博久
教育長 成田 昭彦
外職員 一同

高齢者住宅の家賃決定

収入に応じて

11,000～36,000円

旧古平高校を再利用した高齢者住宅の家賃などが、12月19日に開催された第4回定例町議会で決まりました。今回はその決まった内容について詳しくお知らせします。

■家賃は1万1千円～3万6千円
決定した家賃は左表のとおりです。家賃を決定するにあたり、道内の類似した施設の家賃や国が最低限の生活を保障する生活保護費の家賃援助を参考に決定しました。同じ後志管内の寿都町の高齢者住宅は、古平の住宅と最も似ているため特に参考としました。

住宅を維持運営していくためには最低でも2万5千円程度は必要となります。また寿都では年収175万円の単身者は2万6千円が基準額となり、収入に応じて2万3千円ほどに割引かれます。これらのことから古平町では、部屋の広さが中間のBタイプを2万4千円と設定し、基準額としました。

しかし国民年金収入だけの場合は、年70～80万円程度であること

から、収入に応じて基準額を増減し、表のとおり1万1千円～3万6千円の段階的な家賃としました。

管理費は家賃に含む。光熱水費は別。敷金は3ヶ月分。

家賃には建物の共有部分などの管理費は含まれていますが、電気、水道、燃料費は入居する方の生活スタイルも様々であることから、一律とはせず個別メーターを設置して家賃とは別の実費負担としました。

退去した後の補修費に充てるため3ヶ月分の敷金もいただきます。補

居室種別		部屋数	収入区分	月額家賃額
Aタイプ	1DK 36㎡	7部屋	80万円未満	11,000
			80～125万円未満	15,000
			125万円以上	19,000
			生活保護費受給	19,000
Bタイプ	1LDK 38㎡	4部屋	80万円未満	14,000
			80～125万円未満	19,000
			125万円以上	24,000
			生活保護費受給	24,000
Cタイプ	2LDK 47㎡	8部屋	80万円未満	19,000
			80～125万円未満	26,000
			125万円以上	32,000
			生活保護費受給	24,000
Dタイプ	2LDK 54㎡	4部屋	80万円未満	21,000
			80～125万円未満	28,000
			125万円以上	36,000
			生活保護費受給	24,000

修費がかからない場合は、当然に返金ということになります。管理人が常駐する安心・安全な建物であることを考えると、決して高い家賃設定ではないと考えています。

■入居できるのは、おおむね60歳以上の高齢者

今回の住宅に入居できる方は、古平町に住所があり、おおむね60歳以上のひとり暮らし、または夫婦だけで、独立して生活することに不安のある方です。

部屋の数は、上表のとおり23部屋です。入居には入居調整委員会で協議されることとなります。

■「ほほえみくらす」と命名

建物の愛称は、33件の応募の中から古平中学校の女子生徒が応募した「ほほえみくらす」に決定しました。高校の「クラス」教室が、高齢者が微笑みを持って「暮らす」住宅に変わることを意味しています。

■平成26年2月から申込受付

現在の予定では、平成26年2月下旬から3月中旬頃まで申込受付をします。3月下旬に入居決定をし、4月1日から入居開始の予定です。

冬の給付金 (福祉灯油購入助成金) 1月6日から受付!!

対象世帯	平成25年度の町民税が非課税世帯で、次のいずれかに該当する世帯 ①70歳以上の単身高齢者世帯 (昭和19年4月1日までに生まれた方) ②70歳以上の方だけの世帯 (18歳以下の子供を扶養している世帯も対象) ③18歳までの子供を扶養しているひとり親世帯
助成額	1世帯 10,000円
申請期間	平成26年1月6日(月)~1月31日(金) (ただし土・日・祝日を除く)
申請方法	同封の「申請書」を次のどちらかへ提出 ①役場 民生課福祉係 窓口へ ②地区担当の民生委員へ
支給方法	指定の口座へ振込
支給日	第1回目支給日 平成26年1月24日 (1月6日~1月10日に申請されたもの) 第2回目以降支給日 以後おおむね1週間ごとに支給
対象外	次に該当する場合は対象外世帯となります ・住民票上は分離していても事実上は同一世帯の場合 ・冬期間、町外に滞在している場合 ・福祉施設へ入所している場合 ・長期入院をしている場合 ・事実上、扶養されていると認められる場合 ・生活保護世帯の場合

今年も灯油価格が高騰しているため、燃料費等購入の一部へ助成する「冬の給付金(福祉灯油購入助成金)」を実施します。高齢者世帯などへ助成することにより家計の負担を減らし、安心して生活してもらうことがねらいです。

■各世帯へ1万円の助成

助成の対象世帯は、住民票に登録されている70歳以上の単身高齢者世帯。70歳以上の高齢者のみの世帯。18歳以下の子供と父か母だけのひとり親世帯です。このいずれの場合も町民税が非課税であること

とが要件です。(詳細は左表を参照)

助成する額は1世帯当たり1万円です。1月6日から受付を開始します。今回の広報誌に同封されている「古平町冬の給付金(福祉灯油購入助成金)申請書」に必要事項を記入のうえ、役場窓口か地区の民生委員へ提出してください。第1回目の支給日は、1月24日の予定です。(1月10日までに申請され、「認定」の判定をされた方。申請期日は1月31日まで)

■なぜ灯油券ではなく、現金で助成するのか?

現金支給することで灯油購入では

なく、町外での消費に利用してしまいい町内経済に波及しないことや本来の目的から外れてしまうのではないかと、という意見があります。

しかし以前のように「灯油券」で助成すると、高齢者が「申請」と審査後の「券配布」で計2回、役場に来る必要が生じます。現金振込であれば1回で済みます。また暖房として電気や薪を使用している世帯は灯油券を使用することができません。

1万円の助成で購入できる灯油の量はおよそ100ℓです。寒い北海道ではどんな家庭でも100ℓ以上は使用すると考え、利用者の使い勝手も考慮し、今年も現金で助成することにしました。

■申請に併せて簡単なアンケートを実施します

来年以降もより良い制度とするため、「ひと冬でどれくらい灯油を購入しましたか?」「灯油は町内・町外のどちらで購入しますか?」など、申請書に簡単なアンケートを添付しています。ご協力をお願いします。

◇お問合せ先

役場 民生課福祉係

担当:五十嵐・黒川

☎42-2181(内線57)

平成28年3月で 掖濟会による診療所 の運営が終了します!

エキサイ会診療所

古平町の地域医療の中核を担っている小樽掖濟会病院附属古平診療所のあり方が2年後に、大きく変わります。今ページでは、12月6日に議会全員協議会へ報告された内容についてお知らせします。

■掖濟会による診療所の経営が28年3月で終了します
平成28年3月をもって小樽掖濟会

病院による古平診療所の経営終了が、決定となりました。

患者数の減少による赤字額の拡大と医師確保の困難が大きな理由です。(現診療所は、2人の医師と入院患者のベット数が18床)

■何度も協議を重ね、28年3月までは現状のまま運営

この話は、今年4月に小樽掖濟会病院(小樽の本院)から平成26年3月をもって病床(入院患者を受け入れること)を廃止したいという通知から始まりました。(経過は下表参照)

5月下旬の担当課長レベルの事務協議では、町からの財政支援などの条件で、一旦は撤回することに合意したところでありましたが、8月に行った本院の院長と本間町長の協議で、町の予想を上回る財政支援の要求などで、協議が物別れに終わってしまいました。しかし町民が安心し

て住み慣れた古平で医療が受けられるよう、財政支援を見直し、10月に次の内容で28年3月までは現状のように入院のできる体制で継続する合意を得ました。町での医師確保、今年度からの赤字額への全額財政負担、町での管理栄養士の確保。

■28年4月からは、町立病院として運営する方向で検討

では28年4月からはどうするか? 役場は町に病院のない「無医村」状態になる事態は絶対に避けなければいけないと考えています。

しかしこれまで北海道保健福祉部や北海道病院協会などに内々で相談したところ、古平町で病院を開設してくれる民間法人を見つけることは非常に難しいそうです。(青天井で役場が財政支援を出来れば話は別ですが...)そのため民間法人のアテは探しますが、現時点では掖濟会の所有である診療所を買い取り、町立化していく方向で検討しています。

これまでの経過

H25. 4. 22	小樽掖濟会病院(本院)から平成26年3月をもって、病床を廃止する内容の通知あり。
H25. 5下旬	本院の事務部長と事務レベル協議で、財政的支援の見直しや医師確保の協力、管理栄養士の確保を条件に、病床存続の大筋の合意を得る。
H25. 8. 22	本院の院長へ本間町長が病床存続の要望書を提出するが、財政支援要求額が高額であったなどのことから不合意となる。
H25. 9. 26	本院の事務部長と事務レベルで協議を再開し、25年度からの赤字補てん、町での医師確保、管理栄養士の確保、将来的に掖濟会から診療所の有償譲渡、28年3月までの病床廃止の延期について合意する。
H25. 10. 18	本院の院長と本間町長が事務レベル協議の内容で合意する。

■民間法人に指定管理者として運営をしてもらう
しかし役場が自前で医師を雇い、運営することは、他市町村の例から大きな財政負担が伴います。ご承知のとおり古平町は財政的に豊かではありません。そこで基本的には病院を役場が経営しますが、運営は民間法人に任せる「指定管理者制度」にしたいと考えています。そうすることで、医療に対する町民の要望などもこれまで以上に反映させることが出来ます。また町立病院となった場合、入院患者の受け入れを続けるかどうかなど、そもそもの病院運営方針をこれから議員や町民の皆さんの意見を聞きながら決めていきます。今回は掖濟会の経営終了という第一報ですが、今後決まったことなどを逐次お知らせします。

市場の建設費を漁協が 20年かけて返済

来年には製氷・貯氷施設も建設

これまで何度となくお知らせしてきた「水産物流通荷さばき施設（以下「市場」と表記）」ですが、12月6日に開催された議会全員協議会でその管理方法などの概要が報告されたほか、来年度（26年度）には「製氷・貯氷施設」も新たに建設されることが報告されました。

市場は東しゃこたん漁協が管理する

市場は、これまでもお知らせしたとおり役場の建物です。漁業のための施設ですから、漁協が整備することが本筋ですが、漁協が累積赤字解消のための経営改善に取り組んでいたため役場が建設しました。

建物が完成した後は、北海道知事から「地方卸売市場」の開設計許可を得ている東しゃこん漁協に指定管理者として管理してもらう予定です。

建設費で役場が負担した分を漁協から納付金で納めてもらう

今回の市場を建設するための総事業費はおおよそ3億2300万円です。そのうち国から貰う補助金が2億8200万円、役場がする借金が2400万円、そのうち半分の1200万円は国からの地方交付税で賄ってもらえる、残りの1700万円を町の一般財源として負担します。

役場が負担する一般財源と借金の利子を含めた交付税措置以外の計、おおよそ3500万～4000万円（まだ事業が完全に終わっていないため、この金額は流動的）分については、20年かけて漁協から納付金として納めてもらう予定です。

その納めてもらった納付金で「水産振興基金」という貯金を積み立て、将来的に漁協が行う事業への補助金の財源とする予定です。

また、市場は全額納付した20年後に漁協へ無償譲渡する予定です。

平成26年度に製氷・貯氷施設を漁協が建設する

来年度（26年度）には、陸揚げされた魚に使う氷を製造する「製氷・貯氷施設」を建設することが決定しました。役場も建設に当たって4分の1の補助金を出しますが、今回は本筋通り漁協が事業主体となつて自ら建設します。

平成19年から行ってきた健全化計画が本年度で達成されるため、自ら行うこととなりました。

新たな施設は3億4000万円程度

現在の施設は、昭和39年に建設され、鉄筋コンクリート造3階建てで、施設の能力としては製氷18トン/日、貯氷870トンです。昭和54年に一部

改修はされていますが、こちらの施設も老朽化しており、衛生的に好ましくない状況です。

新しい施設は市場のさらに海側の中央埠頭に建設される予定です。鉄骨造3階建てで、製氷25トン/日、貯氷50トンの能力を有します。建設費はおおよそ3億4000万円程度で、そのうち半分を国からの補助金、残り半分を役場と漁協で折半します。

新たな施設になると建物には常駐の職員が居なくなり、氷の販売はICカードで行われる予定です。



昭和39年に建設された現在の製氷・貯氷施設

年末年始のくらしのガイド

役場など公共施設の開庁日

	役場	文化会館	元気プラザ (保健福祉課)	B & G 海洋センター	地域福祉センター
12月28日(土)	×	×	×	9:00~21:00	×
12月29日(日)	×	×	×	9:00~21:00	×
12月30日(月)	8:45~17:00	8:45~17:00	8:45~17:00	月曜休館日	8:30~17:30
12月31日(火)	×	×	×	×	×
1月1日(水)	×	×	×	×	×
1月2日(木)	×	×	×	×	×
1月3日(金)	×	×	×	×	×
1月4日(土)	×	(※)×	×	×	×
1月5日(日)	×	×	×	×	×
1月6日(月)	8:45~17:30	8:45~17:30	8:45~17:30	月曜休館日	8:30~17:30

※文化会館は1/4、「かつたら君カード会お年玉抽選会」で一時的(午前10:00~午後0:00)に開館いたします。

閉庁期間の戸籍(出生・結婚・死亡・離婚等)の届出は通常の休日のとおり日直が受付しますが、住民票・印鑑証明・戸籍抄本等の発行はできませんので、ご了承ください。

ごみの収集日

年末年始のごみの収集日は次のとおりです。大掃除で出たごみはルールを守り、不法投棄などしないようお願いします。

燃やせるごみ(緑色の袋)

◆浜町・沢江方面

12月30日(月)、1月6日(月)

◆新地方面

12月31日(火)、1月7日(火)

燃やせないごみ(黄色の袋)

◆町内すべて

1月15日(水)

プラスチックごみ(オレンジ)

◆町内すべて

1月8日(水)

資源ごみ(ペットボトル・缶等)

◆浜町方面

1月15日(水)

◆沢江・新地方面

1月8日(水)

町クリーンセンター開設日

12月27日(金)、12月29日(日)

1月8日(水)

開設時間 午前11時~午後4時



ふるびら温泉「しおかぜ」

年末年始は、平常通り営業いたします。(午前10時~午後9時) 1月の定休日は第3木曜日(1月16日)のみとなっております。

12月31日(火)から1月5日(日)は、温泉行きのバスは運行されませんのでご注意ください。

コミュニティバス(巡回バス)

12月31日(火)から1月5日(日)まで運休します。

エキサイ会病院 古平診療所

12月28日(土)	午前診療
12月29日(日)	×
12月30日(月)	午前診療
12月31日(火)	×
1月1日(水)	×
1月2日(木)	×
1月3日(金)	×
1月4日(土)	×
1月5日(日)	×
1月6日(月)	通常診療

年末年始の休日当番医

《医科》

◆12月29日(日)

◆中島内科(22-3866)

◆12月31日(火)

◆勤医協余市診療所(22-2861)

◆1月1日(水)

◆ながい小児科医院(23-6881)

◆1月2日(木)

◆田中内科医院(22-6125)

◆1月3日(金)

◆小嶋内科(22-2245)

◆1月5日(日)

◆林病院(22-5188)

◆当番医の診療時間は9時~17時

◆夜間については余市協成病院で急患に限り診療しています。

◆診療時間 午後6時~翌午前7時

《歯科》

◆12月29日(日)

◆水野歯科(22-3391)

◆12月30日(月)

◆佐藤歯科(22-3678)

◆12月31日(火)

◆とみさわ歯科(22-1511)

◆1月1日(水)

◆荒木歯科医院(22-3973)

◆1月2日(木)

◆森川歯科クリニック(32-3653)

◆1月3日(金)

◆いとっ歯科医院(22-1001)

◆当番医の診療時間は9時~正午

古平町商工会

◆12月30日(月) 午後から1月5日(日)までお休みです。

	古平郵便局（入船町）			浜町郵便局			郵便配達
	銀行・保険窓口	郵便窓口	ATM	銀行・保険窓口	郵便窓口	ATM	
12月28日（土）	×	×	9:00～17:00	×	×	9:00～12:30	○
12月29日（日）	×	×	9:00～14:00	×	×	×	○
12月30日（月）	9:00～16:00	9:00～17:00	8:45～18:00	9:00～16:00	9:00～17:00	9:00～17:30	○
12月31日（火）	×	×	9:00～17:00	×	×	9:00～17:00	○
1月1日（水）	×	×	9:00～14:00	×	×	×	○
1月2日（木）	×	×	9:00～14:00	×	×	×	○
1月3日（金）	×	×	9:00～14:00	×	×	×	○
1月4日（土）	×	×	9:00～17:00	×	×	9:00～12:30	○
1月5日（日）	×	×	9:00～14:00	×	×	×	○
1月6日（月）	9:00～16:00	9:00～17:00	8:45～18:00	9:00～16:00	9:00～17:00	9:00～17:30	○

郵便局（古平郵便局・浜町郵便局）

北海信金（古平支店・浜町代理店）

窓口・ATM共に12月31日（火）から1月5日（日）までお休みです。

消防団出初式のお知らせ

- 開催日 平成26年1月6日（月）
- 時間 午前10時
- 場所 文化会館
- サイレン吹鳴・町内パレード

第一警鐘 午前8時
パレード 午前9時
第二警鐘 午前10時
今回は防災無線の電子サイレンを吹鳴します。通常のサイレンとは音色が違います。

日常生活圏域ニース調査

を実施します

後志広域連合では、65歳以上の方を対象に介護保険事業計画の策定と介護予防の事業に役立てるため「日常生活圏域ニース調査」を行います。対象となる方には、1月中旬に調査票が郵送されますので、ご協力をお願いします。

◇お問合せ先
後志広域連合 介護保険課
保健福祉課 介護保険係
役場
☎0136-55-8013
☎42-2182

26年度の入園児童を募集します

平成26年度「認定こども園ふるびら幼児センターみらい」の入園児童を次のとおり募集いたします。

◆募集児童数

長時間保育 50名
短時間保育 30名

◆対象年齢

長時間 6カ月～小学校入学前
短時間 4～5歳児（平成26年4月1日時点）



◆保育時間（月～土曜日）

長時間 午前7時30分～午後6時
短時間 午前8時30分～午後1時

◆申込・受付期間

平成26年1月18日～1月31日

◆申込・受付窓口

ふるびら幼児センターみらい
☎42-2649

◆申込方法

申込・受付窓口にて申込書類を受け取り、必要事項を記載のうえ、申込・受付窓口へ提出してください。

◆保育料金

入園申込後、保護者等の所得に応じて決定し、通知いたします。

◆その他

現在、幼児センターに入園している児童も入園手続きが必要となりますので、あらかじめ手続きを行ってください。

長時間保育、短時間保育にそれぞれ「入園できる基準」がありますので、詳しくは左記のお問合せ先で確認願います。

◇お問合せ先

・幼児センター ☎42-2649
・子育て支援センター ☎42-4151



後期高齢者医療制度のお知らせ

「高額介護合算療養費」及び「医療費通知」について

■高額介護合算療養費について

医療と介護の両方を利用している世帯の自己負担を軽減する制度です。

同じ世帯の被保険者が、1年間に支払った後期高齢者医療制度と介護保険の自己負担の合計額が下表の限度額を越えたときは、その越えた額が後期高齢者医療制度及び介護保険から支給されます。なお、手続きには役場窓口への申請が必要となります。

後期高齢者医療制度または介護保険の自己負担額のいずれかが0円の場合は対象となりません。
支給額が500円以下の場合には支給されません。

申請される方は、左の連絡先へご連絡ください。

◇お問合せ先

役場 民生課 健康保険係

☎ 42-2181

内線 39・57

【自己負担 限度額表】

負担割合	区 分		自己負担額の合計基準額
3割	現役並みの所得者		67万円
1割	一 般		56万円
	住民税非課税世帯	区分Ⅱ(※1)	31万円
		区分Ⅰ(※2)	19万円

※1 世帯全員が住民税非課税である方

※2 世帯全員が住民税非課税であり、世帯全員の所得が0円（公的年金収入のみの場合、その受給額が80万円以下）、または老齢福祉年金を受給している方

注) 1年分の自己負担額の計算期間：8月1日～翌年7月31日

■医療費通知の送付を希望される方へ

北海道後期高齢者医療広域連合では、発行を希望される方を対象に、

医療費を半年ごとにまとめた医療費通知を送付しています。次回の発行は平成26年3月末（平成25年7～12月診療分）に行います。

◆新たに発行をご希望の方はご連絡ください

新たに発行をご希望の方は、お手数ですが、左の連絡先へご連絡ください（電話でのご連絡だけで手続きできません）

すでに「発行希望」のご連絡をいただいている方につきましては、継続しますので、再度のご連絡は必要ありません。
この通知を受け取られたことにより、申請等の手続きをされる必要はありません。
この通知を確定申告などの「医療費控除」の領収書の代わりとすることはできません。

◇お問合せ先

・北海道後期高齢者医療広域連合

〒060-0062

札幌市中央区南2条西14丁目

国保会館6階

☎ 011-290-5601

・役場 民生課 健康保険係

☎ 42-2181（39・56）

永年勤続の9人を表彰！

商工会 永年勤続優良従業員表彰式

町商工会加盟の事業所に長年勤務した従業員を表彰する平成25年度の「永年勤続優良従業員表彰式」(古平町商工会主催)が11月15日、漁港会館で開催され、3事業所9人が表彰されました。従業員の勤労意欲の向上と職場への定着性を図るため、昭和51年の開始以来、59事業所497名がこれまで表彰されており、今年で38回目です。

表彰式では受賞者一人ずつに梅野史朗商工会会長から感謝状と記念品が手渡され、同会長は、体に充分気をつけ、これから町の商業発展のために尽力してください」と挨拶していました。表彰者は下表のとおりです。

平成25年度 永年勤続優良従業員表彰一覧

表彰者氏名	勤務先	表彰該当年
笠井 千枝子	㈱カネト水産	勤続25年
茂野 ノリ子	㈱カネト水産	勤続25年
西村 耕司	(有)小野寺商店	勤続25年
三浦 叶子	㈱カネト水産	勤続25年
脇坂 朝子	㈱カネト水産	勤続25年
池田 富子	㈱よ吉野	勤続10年
野村 美穂	㈱よ吉野	勤続10年
福嶋 和子	㈱よ吉野	勤続10年
森 由紀子	㈱よ吉野	勤続10年

※敬称略 勤続年数ごとの五十音順



梅野会長から表彰される受賞者

栄養教諭による食育の授業

食べ物に対する正しい知識を身に付ける

古平小学校の各学年で11月に栄養教諭による食育の授業が行われました。児童が食べ物に対する正しい知識と望ましい食生活などを身に付けることが狙いです。文部科学省でも栄養教諭による食育の授業を推進しており、同小では昨年から行っています。

今回は毎日食べている給食について学びました。

取材した小学校5年生(16人)の授業ではDVDを視聴し、給食センターで給食が出来るまでを映像で学んでいました。児童は、衛生管理を徹底するために作業工程で調理員が何度もエプロン等を取り替えていることに驚き、残さず食べることや食器の返却の仕方などで作ってくれる人への感謝の気持ちを表したいとも発表していました。

滝上由美子栄養教諭は「毎日、食べている給食は調理員が手間暇をかけて作っていることを知ってもらい、そこから食べ物に対する興味を持ってもらいたかった。子供たちには食

べ物は生きる活力になることを伝えていきたい」と、また授業を受けた久保田日音君は「給食センターは5人で198人分の給食を作っていると聞き、驚いた。おいしい給食を作ってくれていることにこれからも感謝したい」と話してくれました。



栄養教諭による食育の授業
|| 古小5年生

11/16(土)

「元気かい？ 調子はどう？」～浜五町内会 敬老弁当配布



弁当を受け取る町内会員

浜五町内会（大澤良一会長）が11月16日、独自の取り組みとして数え年77歳以上の高齢会員へ敬老弁当を配布しました。高齢会員は町内会活動へなかなか参加できないことから、安否確認を兼ねて平成17年から実施。事前に希望した34人へ配布しました。

当日は朝から女性部9人がシャケや煮物などの幕の内弁当を作り、それを夕食時に男性役員5人が「元気かい？」「調子はどう？」などと声をかけて配布しました。

弁当を受け取った藤枝イヨさんは「大変ありがたい。毎年楽しみにしている」と話してくれました。

11/17(日)

「普段の生活の中でがんばっていることを披露」～幼児センター生活発表会



丸、三角、四角を組み合わせる表現遊び
(遠足で歩いている様子を表現)

幼児センターみらいが11月17日、同センターのホールで生活発表会を行い、園児は普段の生活の中で頑張っていることを保護者らの前で披露しました。

発表会では、各年齢児の子供が「遊戯」や「劇遊び」、「表現遊び」で観客を楽しませました。特に5歳児（今年度に6歳になる子）は、丸、三角、四角の紙を組み合わせ、遠足で歩いている姿などを上手に表現することや、鉄棒での逆上がりや縄飛びも披露し、会場を埋めた大勢の観客から大きな拍手を受けていました。

5歳児の福井羽奏ちゃんは「みんなの前で鉄棒をがんばりました」と元気に応えてくれました。

11/22(金)

「子どもの携帯などの使用は親がしっかりと管理する！」～携帯電話インターネット安心講座



古平中学校での講座
全校生徒60人が対象

携帯電話やインターネットの爆発的な普及に伴い、児童・生徒と保護者に正しい使い方を理解してもらおうための講座が11月22日、古平小と古平中でそれぞれ開かれました。講師は道立教育研究所付属情報処理教育センターの研究研修主事の方でした。

講座では、「子どもの使用は親がしっかりと管理する」、「軽い気持ちで個人情報等をインターネットに載せない」などと講師は強調していました。

中3の小林竜矢君は「これから非常に相手のことを気遣いながらメールなどを安全に使用する」、小6の山崎麻美さんは「使い方を間違つと危険なことがあらためて分かった」と話してくれました。

11/28 (木)

「役場と地域代表者との意見交換の場」～第3回町内会長会議



防災訓練の結果などを意見交換する町内会長会議

役場と地域の代表者である町内会長が意見交換をする、本年度3回目の町内会長会議が11月28日、行われ、代理を含め17人の会長らが出席しました。会議では、初め「高齢者住宅」と「荷さばき施設（市場）」の建設現場を視察し、現在までの進み具合を確認しました。また文化会館に戻ってからは9～10月に行われた津波と原子力災害訓練の結果が役場から報告され、両者で反省点などを話し合いました。地域懇談会で町内会側から出された質問・意見等に対する回答も役場から行われました。

11/29 (金)

「古平消防団120年記念切手」～記念切手贈呈式



白川郵便局長から記念切手シートを受け取る高野消防団長

日本郵便(株)北海道支社から古平消防団へ「120年記念切手」シート(10枚)を進呈する贈呈式が11月28日、北後志消防組合古平支署で行われました。明治27年に制定された消防組規則によつて各地の消防団が設立120年を迎えるため、同支社が全道各地で行っていることです。贈呈式では、白川浩一古平郵便局長から高野俊和消防団長へ切手シートが直接、手渡されました。古平消防団は、明治27年に「公立消防組一部2組制」として設立され、昭和14年に「古平警消防団」、昭和22年に「古平消防団1部2分団制」、そして昭和49年に現在の「北後志消防組合古平消防団」となりました。

12/1 (日)

「美しいハーモニーを披露」～女声コーラス「ハイミッシュュコール」記念演奏会



美しいハーモニーを披露したハイミッシュュコールの記念演奏会

古平女声コーラス「ハイミッシュュコール」の第30回記念演奏会が12月1日、文化会館で開かれ、12人のメンバーがソプラノとアルトに分かれ絶妙なハーモニーを響かせました。演奏会は4部構成。お馴染みのアニメソングである「となりのトトロ」や懐かしの童謡で「子鹿のバンビ」、伝えたい曲で「花は咲く」など全23曲を透明感あふれる声で歌い上げました。曲が終わるごとに会場のおおよそ150人の観客から大きな拍手が送られていました。大石奈穂子会長は「これからも人と人の縁を大切にして、地域に根ざした活動をしていきます」と最後に観客へ挨拶していました。

12/2 (月)

「スゲを使ってしめ飾りを製作」～文化教室(「しめ飾り」製作)



講師の手本のとおり、真剣に製作する参加者たち

多年生の草である「スゲ」で正月用の「しめ飾り」を製作する文化教室(教育委員会主催)が12月2日、文化会館で開かれ、16人が参加しました。実用的に使用できるため正月前のこの時期に毎年開催されており、講師は小樽市のNPO法人自然教育促進会の方でした。

教室では、講師が作り方の手本を見せて、参加者がそれを真似しながら進めていきました。スゲが固いこともあり丸めることやねじることに苦労しながらも、参加者は立派なしめ飾りを製作していました。

前川京子さん(本陣)は「見栄えが良くなるようにスゲをねじるところが難しかったが、自分なりに上手に出来たと思う」と参加した感想を話してくれました。

12/7 (土)

「支えてくれた周りの人に感謝！」～古平野球スポーツ少年団 退団式



少年団での活動を振り返る6年生

スタルヒン杯全道大会で三位になるなど今季大活躍した古平野球スポーツ少年団が12月7日、6年生10人の退団式を古小の体育館で行いました。

式では20人の保護者らが見守る中、退団する6年生はこれまでの団での活動を振り返り、布谷航大君は「この1年間よくがんばったと思う。父母に感謝」や加藤史也君は「監督、コーチに育ててもらったことに感謝しています」、堀歌純さんは「少年団での活動が良い経験になりました」と堂々と発表していました。また新キャプテンになった小林颯君は「来年も全国大会に出場できるようがんばります」と6年生へ力強く宣言していました。

12/8 (日)

「年配者の経験を若い世代へ伝える！」～沢江町内会 餅つき会



年配者から杵の使い方を教わる若い世代

沢江町内会(丹後藤雄会長)が12月8日、ふれあいセンターさわえで餅つき会を開催し、参加者は昔ながらの杵と臼を使った餅つきを楽しみました。この餅つき会は、同町内会が独自に毎年行っているもので、今年で4回目。参加者は幼児から高齢者まで5人でした。会では、杵と臼を使った経験のある年配者が、若い世代につき方のコツなどを教えることや、つき上がった餅と一緒にちぎり餅や大福などを作って交流しました。昼食時には、つきたての餅で雑煮やお汁粉を味わい、参加者は満足そうでした。

丹後会長は最後に、「これからも仲良く、助け合って町内会活動を楽しもう」と挨拶していました。

国や道などからのお知らせ

【各種自衛官等の募集】

自衛官候補生(男子)・予備自衛官補(一般・技術)を募集します。

◇お問合せ先

自衛隊札幌地方協力本部 小樽地域事務所(小樽市稲穂2-22-4 樽石ビル2F)

☎0134-225521

【みんなの絵手紙メッセージの募集】

2016年3月に北海道新幹線の開業が予定されています。そこで、多くの観光客の皆様が北海道や東北へ訪れたくなるような、魅力的な絵手紙を大募集します。

応募内容

テーマ 道外の方が「北海道に行きたい!」と感じるような北海道の魅力伝える絵手紙
サイズ 郵便はがきまたは同じサイズ(15×10cm)
画材 自由です

応募資格

どなたでもご応募いただけます

応募方法

宛名面に、作品コメント、ニックネーム・名前(本名)・住所・電話番号をご記入の上、左までご郵送く

ださい

〒006-0052

札幌市中央区南2条東3丁目ノヴェ口内 北海道新幹線 絵手紙宛

応募締切

平成26年1月14日当日消印有効

賞・賞金

審査員賞1点(カタログギフト 5000円相当)
いいね!賞1点(カタログギフト 5000円相当)

作品発表

応募作品は選考の上、北海道新幹線開業NAVI(ウエブサイト)、北海道新幹線開業NAVIフェイスブックページにて、公開を予定しています。

お問合せ先

北海道新幹線開業PR会議
〒060-0052

札幌市中央区南2条東3丁目

ノヴェ口内

☎011-20003135

info@hokkaido-shinkansen-navi.jp

【記帳・帳簿書類の保存制度】

平成26年1月から個人で事業や不動産貸付等を行う全ての方は、記帳と帳簿書類の保存が必要となります。○対象となる方

個人の白色申告者のうち、事業所得、不動産所得又は山林所得を生ずべき業務を行う全ての方です

(所得税及び復興特別所得税の申告の必要がない方も対象となります)

○記帳する内容

売上げなどの収入金額、仕入れや経費に関する事項について、取引の年月日、売上先・仕入先その他の相手方の名称、金額、日々の売上げ・仕入れ・経費の金額等を帳簿に記載します。

記帳にあたっては、一つ一つの取引ごとではなく日々の合計金額をまとめて記載するなど、簡易な方法で記載してもよいことになっています。

○帳簿書類の保存

収入金額や必要経費を記載した帳簿のほか、取引に伴って作成した帳簿や受け取った請求書・領収書などの書類を保存する必要があります。

◇お問合せ先

余市税務署 ☎22-2093

【申告書の作成は便利な「確定申告書等作成コーナー」で!】

国税庁のホームページの「確定申告書等作成コーナー」で、所得税及び復興特別所得税の申告書などを作成し、印刷して郵送等により提出することが出来ます。

確定申告書の作成には「確定申告書等作成コーナー」を是非、ご利用

ください。なお平成26年1月から利用することができます。
<http://www.keisan.nta.go.jp>

【お子さまの教育資金を「国の教育ローン」がサポート!】

「国の教育ローン」は、高校、短大、大学、専修学校、各種学校や外国の高校、大学等に入学・在学するお子さまをお持ちのご家庭を対象とした公的な融資制度です。

○ご融資額: お子さま一人につき300万円以内

○利率: 年2・35%(母子家庭または世帯年収200万円以内の方は1・95%)

◇お問合せ先

教育ローンコールセンター
☎0570-008-656

【緊急通報は110番、相談電話は「#9110」に!】

110番は、緊急の事件・事故をいち早く警察へ通報する緊急電話です。慌てず落ち着いて正しく答えてください。

また、道民生活の安全に関する相談や警察業務に関する意見・要望は、短縮ダイヤル「9110」をご利用ください。

民生委員、全員が再任される

古平町の民生委員15人と主任児童委員2人の計17人全員が12月1日、3年間の任期で厚生労働大臣より再任の委嘱をされました。12月11日に行われた定例民生委員協議会で、各委員は本間町長から代わって委嘱状を受け取りました。

民生委員は各担当地区の住民の状況を把握して、援助を必要とする方の相談や支援、役場との橋渡しなどを仕事としています。身分は非常勤の地方公務員で工作上、知った個人情報などは絶対に漏らさないことになっています。また奉仕者であるため給与は無報酬です。

再任された委員は下のとおりです。



本間町長から藤井民生委員へ委嘱状が手渡される



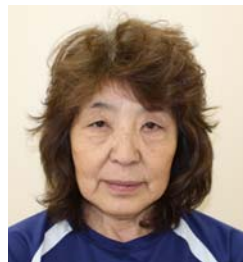
高野 幸子
[旭 町]



八戸 美喜子
[浜 一]



田口 裕美子
[沢江町]



石沢 和子
[沖 町]



三浦 愛子
[浜 五]



佐々木 洋子
[銀 座]



大石 奈穂子
[浜 三]



工藤 誓子
[あけぼの・栄・畑]



藤井 耕平
[新地町・群来]



八幡 祐子
[港 町]



住吉 巧
[本 陣]



高見 純子
[清 住]



菊地 とみ子
[主任児童委員]



田畑 正
[主任児童委員]



堀 光子
[丸山町]



本間 まるみ
[本 町]



大島 敏子
[入船町・御崎町]

ふるびら元気っ子

町内に住む満1歳になる子どもを紹介し
ます。
今月号は12月に誕生日を迎えた
子どもたちです。



茂木 楓真 ちゃん
12月19日生
保護者 一さん
みどりさん
(新地町)
(みどりさんより)
元気でやさしい男の子に
育ってほしい



越後 吉星 ちゃん
12月6日生
保護者 睦人さん
由紀子さん
(浜五)
(由紀子さんより)
明るくて、たくましい子に
育ってほしい

町職員の人事異動

□12月1日付 ※()は前職

【民生課】

▼戸籍年金係長(保健福祉課介護保
険係長) 金沢美喜子

【建設水道課】

翔大 ▼介護保険係兼介護支援係
(建設水道課建設管理係) 平田雅一

建設水道課長(建設水道課長兼建
設管理係長) 本間好晴 ▼建設管理

係長(下水道管理係長) 布谷夏樹

▼下水道管理係長(民生課戸籍年金
係長) 岩崎安司

◎退職(12月31日付)

▼(教育委員会管理係長) 井沼和広

【保健福祉課】

▼保健福祉課長兼介護保険係長(保
健福祉課長) 佐藤昌紀 ▼介護保険
係(介護保険係兼介護支援係) 前田

松尾英二さん 産業貢献賞で表彰

漁業経営や海難防止、漁
業就業者の養成に努めるな
ど漁村発展に尽力されたた
として、この度、松尾英二さ
ん(港町)が水産業功労者
として北海道知事より表彰
されました。



産業貢献賞で表彰された松尾さん

松尾さんは、昭和63年に
北海道青年漁業士に認定さ
れて以来、地域漁業活動の
リーダーとして漁業関係団
体と連携を図りながら、
様々な活動の指導や援助等
の役割を担ってきました。
また平成11年には石狩・後
志管内漁業士会の会長、平

東京ふるびら会→祭へ寄附



11/18、本間町長から祭典寄付が
関係者へ手渡されました

首都圏在住の古平出身者が集
う第13回東京ふるびら会(堀由
清会長)の総会・懇親会が11月
16日、都内港区のレストランで
開かれ、30人が参加しました。
総会で琴平神社例大祭への寄
附などが

決定され、
懇親会で
は故郷ふ
るびらを
懐かしみ
ました。



いきいき・ほのぼの文芸

古平町岬短歌会



エゾ松よ山一面に黄金色あと幾日か雪の便りは
 晩秋の風と遊ぶか落葉たち転げてとぶも子供のやうに
 暖かな初冬の日差し露あるも行く道沿ひにほととぎす咲く
 三振に試合ひを決めしマー君は諸手つき上げ心の雄叫び
 椿咲く境内で遊びし友々と六十年振り今日の再会
 キラキラと楓もみじの黄金色ニセコの山は紅葉の盛り
 間引き忘れ形なさねと捨てがたく作る酸大根旨味の増して

泉 清三
 金子 寿子
 坂本 信子
 鈴木 時子
 田中 香苗
 寺田 カツ子
 仲谷 喜美能

古平俳句会

波音の折れず曲がらず冬来る
 空に風海に波あり冬来る
 なよなよと風の意のまま秋桜
 七五三晴着二代孫娘
 雪予報はずれ昼より旅支度
 風去りて冬になりたき雨の降る
 七五三背丈は年に従わず
 七五三赤の衣装は男の子

狭庭のただ一本の紅葉よく
 昨日より今日の風音冬近し
 神の留守くちを並へて独り言
 生家跡風にさらされ冬に入る

渡辺 嘉之
 室谷 弘子
 山 悦子
 仲谷 比呂子
 山 哲



「平成24年度古平町の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価」の公表について

毎年、教育委員会では所管する事務に関して、点検及び評価を行い、その結果を報告書としています。

住民の代表である町議会へ報告書を提出するとともに、地域住民の皆さんへも公表いたします。

報告書の閲覧を希望する方は、教育委員会事務局及びB&G海洋センターに備えつけておりますので、職員へ申し出てください。

◇お問合せ先

教育委員会事務局 42-2590
 B&G海洋センター 42-2300

【お詫び】

先月号の古平俳句会の内容に誤りがありましたので、深くお詫びするとともに訂正させていただきます。

山口 哲さんの句
 (誤) 奇岩岬青き空あり紅葉かな
 (正) 奇岩岬青き空あり紅葉あり

ご寄付いただき誠にありがとうございました(敬称略)

◎現金

100,000円

山本 由佳子(旭町)

200,000円

笠井 隆義(新地町)

おたんじょうおめでとう

氏名 生年月日 保護者 町内
 辻田 悠里ちゃん 11・13 穰さん 町内
 前川 心花ちゃん 12・5 五月さん あけぼの

ご冥福をお祈りいたします

氏名 年齢 死去月日 町内
 曾我 利男さん 75歳 11・15 浜3
 立島 修治さん 79歳 11・22 本陣
 竹村トシエさん 91歳 11・27 港町

町の人口と世帯数

	前月比
人口	3,486人 (-5)
男	1,635人 (-3)
女	1,851人 (-2)
世帯数	1,858世帯 (1)
外国人	25人 (6)
男	2人 (0)
女	23人 (6)

(平成25年11月末日現在住民基本台帳人口)